

# など88議案を審議

# した交流の推進

- 2月28日、3月2日（本会議）  
市長による提案説明、  
総括質疑（6人）
- 3月3日～12日（4常任委員会）
- 3月16日～19日（本会議）  
一般質問（18人）
- 3月24日（本会議）  
討論（5人）、採決（88件）  
議案と審議結果については10、11  
ページをご覧ください

## 総括質疑

総括質疑は、市長が提出した議案に対して案件の概要と疑問点を説明するために行われます。今定例会では、公明党、輝、市民クラブ、みらい、日本共産党議員団、創風が総括質疑を行いました。

### 観光地域づくり実践未来塾 担い手のつながりを

☀️ 観光に意欲的に取り組む市民や事業者に役立つ知識・技術を習得してもらい、担い手同士の横のつながりを築く場として令和2年度に「観光地域づくり実践未来塾」を開講します。

問／「観光地域づくり実践未来塾」の趣旨と内容は。

答／「観光地域づくり実践未来塾」は、当市の観光交流を推進するための「土台づくり」として、意義ある取組と認識している。上越市観光交流ビジョンを市民の皆さんと共有するためのシンポジウムを開催する。また、これからの当市観光をけん引する人材のスキルアップと、受講者の協力関係の構築などを目指す取組として同ビジョンに示す「観光マインドの底上げ」や「受入環境



上越市観光交流ビジョン策定時に実施したワークショップ

の整備・充実」、「プロモーションの工夫」、「データの活用」の4つの「基本取組」に沿ったテーマを設定し、次世代の担い手を対象とした5回程度の講座やワークショップの開催を計画している。この取組により、受講者が互いに研さんし合い、横のつながりを築く中で、新たな事業が創出されることを期待している。

### 健康福祉分野の組織 機能分化による強化は

☀️ 行政需要が多様化し、拡大する健康福祉分野における各種施策を着実に実行する体制を整えるため、現行の「健康福祉部」を福祉・医療・介護部門の「福祉部」と健康・子育て部門の「健康子育て部」に機能分化します。

問／組織改編後に強化される点について聞きたい。



答／今後も多様化・高度化が見込まれる行政需要の動向や、重要課題への対応を考えると、更なる効果的な執行体制が必要となる。新年度の健康福祉分野における機能分化により、保育園の民営化、上越地域医療センター病院の改築と経営改善検討の取組、新上越斎場の整備などの課題を着実に推進する体制が整うと考える。また、専門性を発揮して企画立案力の強化が図られるほか、意思決定の迅速化、突発的な事案に適応する危機管理能力の向上などの効果が得られると考えている。

